

科目名 学術論文作成法(一) (2単位)

担当者氏名 千葉 晋、小林万里

◆学習・教育目標

研究活動において成果の公表は大切なことである。本科目においては、学術論文作成の意義をはじめ、修士論文の作成を中心にして、学術論文の作成方法などを講義する。具体的には、①科学論文の意義や著者の倫理と責任についてしっかりと認識させる、②論文の種類と学位論文の特性を理解させる、③参考文献やデータベースの検索法を習得させる、④内容の構成、わかりやすい表現法、英文抄録の書き方など、科学論文の書き方について講義する。

◆取り扱う領域(キーワードで記載)

| | | | |
|------|----------|----|--------|
| 科学論文 | データベース処理 | 解析 | ピアレビュー |
|------|----------|----|--------|

◆授業の進行等について(単位制度に基づく授業の進行予定・内容)

| 回数 | テーマ | 内容 | 授業のねらいまたは準備しておく事項 |
|-----|------------|----------------|-------------------|
| 1回 | 科学論文の意義(1) | 科学論文の価値 | 履修登録の参考とすること |
| 2回 | 科学論文の意義(2) | 科学論文の倫理と責任 | 予告内容に関して予習すること |
| 3回 | 科学論文の構成(1) | 特に、緒言の構成 | 予告内容に関して予習すること |
| 4回 | 科学論文の構成(2) | 特に、方法の構成 | 予告内容に関して予習すること |
| 5回 | 科学論文の構成(3) | 特に、結果の構成 | 予告内容に関して予習すること |
| 6回 | 科学論文の構成(4) | 特に、考察の構成 | 予告内容に関して予習すること |
| 7回 | 論文の種類(1) | 査読論文の意義とピアレビュー | 予告内容に関して予習すること |
| 8回 | 論文の種類(2) | 著書の意義 | 予告内容に関して予習すること |
| 9回 | 論文の種類(3) | 報告書の意義 | 予告内容に関して予習すること |
| 10回 | 論文の種類(4) | 一般記事の意義 | 予告内容に関して予習すること |
| 11回 | 資料収集(1) | 日本語データベースの扱い | 予告内容に関して予習すること |
| 12回 | 資料収集(2) | 英語データベースの扱い | 予告内容に関して予習すること |
| 13回 | 論文執筆の技術(1) | 日本語の論文執筆における技術 | 予告内容に関して予習すること |
| 14回 | 論文執筆の技術(2) | 英語の論文執筆における技術 | 予告内容に関して予習すること |
| 15回 | | | 予告内容に関して予習すること |

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

これから論文を書く若者のために 増補版 / 酒井聡樹 / 共立出版(2006年)

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

◆評価の方法(レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト)

出席点のみで評価する

◆その他受講上の注意事項

原則として、英語辞書を持参すること